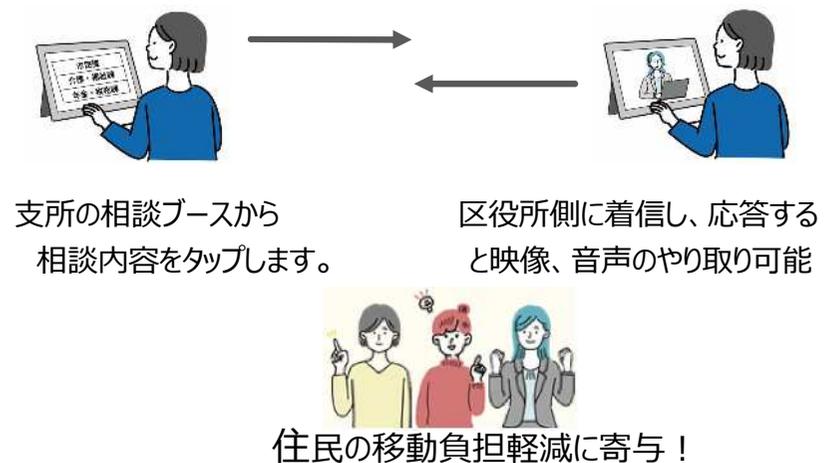


事業概要【中小企業DX支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）】

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和5年度第1回募集								
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	55,717千円（交付金27,858千円） ※令和6年度事業費								
事業タイプ	地方創生推進タイプ（横展開型）	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野								
目的（効果）	市内中小事業者のデジタル化を進めるとともに、デジタル人材の育成等による中長期的な事業者のデジタル化を継続させていくことで、全市的なデジタルトランスフォーメーションを創発させ、産業振興及び地方創生に繋げる。										
事業概要・ 主な経費	<p>①デジタル化基盤強化事業（補助金 19,677千円） 多様な業種の市内中小事業者のデジタル化推進にあたり、デジタル技術や設備の導入、人材育成などを支援。</p> <p>②DXモデル創出事業（委託料 16,560千円） デジタル化の基盤が一定構築された市内中小企業をDXモデルとして引き上げることで、DXの有効な事例を創出。</p> <p>③DXプラットフォーム構築・運営事業（委託料 19,480千円） 支援機関・金融機関・業界団体等と連携し、市内中小事業者のデジタル化を推進する事業主体を構築・運営。 ※令和6年度の内容を記載</p>		令和6年度川崎市中小企業DXモデル支援事業 採択事業一覧								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>企業名</th> <th>本社所在地</th> <th>モデル事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>enefla株式会社</td> <td>高津区</td> <td>EV充電器用「課金システム」開発</td> </tr> <tr> <td>ストーリー株式会社</td> <td>多摩区</td> <td>女性特化型こどもタクシー ドライバー育成・マッチング事業</td> </tr> </tbody> </table>	企業名	本社所在地	モデル事業名称	enefla株式会社	高津区	EV充電器用「課金システム」開発	ストーリー株式会社	多摩区
企業名	本社所在地	モデル事業名称									
enefla株式会社	高津区	EV充電器用「課金システム」開発									
ストーリー株式会社	多摩区	女性特化型こどもタクシー ドライバー育成・マッチング事業									
KPI	<p>①デジタル化に取り組んでいる市内中小事業者の割合 （令和6年度目標値+5.00%→実績▲2.14%） ※目標 R5 39% R6 44% 実績 R5 47.23% R6 45.09%</p> <p>②デジタル基盤強化支援数 （令和6年度目標値40件→実績39件）</p> <p>③DXモデルの創出数 （令和6年度目標値2件→実績2件）</p>		<p>関連URL</p> <p>（川崎市：デジタル田園都市国家構想交付金・実施状況） https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html</p>								

事業概要【川崎市役所及び支所の機能再編整備事業】（遠隔相談システムの導入）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和6年度
事業計画期間	令和6年度	交付対象事業費	22,923千円 (交付金11,461千円)
事業タイプ	デジタル実装TYPE 1	事業分野（詳細）	川崎市・支所機能再編整備事業
目的（効果）	行政手続や相談業務のオンライン化を含む本市における行政サービスのデジタル化推進の取組とあわせて、支所でのオンライン手続きや、窓口体制変更に伴う区役所へ出向く高齢者・障害者等の負担に配慮した取組のために、支所と区役所をつなぐオンライン相談環境を整備するため、遠隔相談システムを導入する。		
事業概要・ 主な経費	<p>①遠隔相談システム導入等委託料（22,000千円） ※令和9年3月までの複数年契約（契約総額28,556千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム構築 ・導入支援 ・システム運用保守 等 <p>②広報委託料（923千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ ・ポスター ・看板設置 等 	 <p>支所の相談ブースから 相談内容をタップします。</p> <p>区役所側に着信し、応答すると映像、音声のやり取り可能</p> <p>住民の移動負担軽減に寄与！</p>	
KPI	<p>アウトプット指標（活動指標）</p> <p>①遠隔相談サービス対象手続き数 (令和6年度目標値40手続⇒実績高齢者関連等の12相談業務)</p> <p>②遠隔相談サービス利用者数（令和7年1月から3月まで） (令和6年度目標270人⇒実績ゼロ)</p> <p>③遠隔相談サービス利用者の満足度 (令和6年度2.8ポイント⇒令和6年度利用者ゼロ)</p> <p>* 担当職員による支所内での面会、家庭訪問等の取組で相談対応している。</p>	関連URL	<p>(川崎市：令和7年1月6日から区役所と支所の窓口が変わりました(川崎市))</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/page/0000153321.html</p>

令和6年度ICTを活用した新たな学校施設開放事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）

申請者	神奈川県川崎市	採択回	令和6年度
事業計画期間	令和6年度	交付対象事業費	191,801千円 (交付金95,900千円)
事業タイプ	デジタル実装TYPE1	事業分野（詳細）	学校施設有効活用事業
目的（効果）	<p>学校施設の更なる有効活用に向けた取組の一環として、「利用手続の簡素化及び予約状況の可視化」といった誰もが利用しやすい仕組みとすることで、学校施設が地域における活動の拠点として、市民のスポーツ・レクリエーション、生涯学習、文化活動、市民活動等の場となり、幅広い年代の地域住民と密接に関わる市民共有の貴重な財産として有効に活用されることを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>市内の学校施設を市民等の利用に供する学校施設有効活用事業を実施しているところ、紙でのやり取りを前提としている各種手続が煩雑であり、また、利用の都度、利用者が鍵を学校とやり取りする手間が生じているため、予約システム及びスマートロックシステムを導入することで、手続を簡素化するとともに鍵の受渡しに伴う負担を軽減し、学校施設の更なる有効活用を促進する。</p> <p>予約システム構築等 24,826千円 スマートロック本体費 80,600千円 スマートロック設置費 84,560千円 ネットワーク通信料 1,815千円</p>	 <p>スマートロック機能付 キーボックス</p> <p>予約システム 操作画面イメージ</p> <p>位置情報機能付 キーホルダー</p>	
KPI	<p>①手続の電子化率（当該年度目標値16.6%⇒実績16.6%） ②特別教室等の開放校数（当該年度目標値116校⇒実績107校） ③予約システムの利用者数（当該年度目標値100人⇒実績99人） ④利用者満足度（当該年度目標値50%⇒実績55%） ⑤学校施設利用延人数（当該年度目標値268万人⇒実績251.2万人）</p>	関連URL	<p>（学校施設の有効活用） https://www.city.kawasaki.jp/880/category/9-32-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html</p>